

環境活動レポート

2015 年度

レポート対象期間：2015 年 4 月～2016 年 3 月

2016 年 4 月 1 日 発行



エーソル株式会社

代表取締役 川寄 精一

1. 環境方針

環境基本理念

当社は地球環境に関する責任を厳粛に受け止め、企業活動と環境との調和を図り、環境汚染の防止、資源の有効利用に 継続的に取組、より良い社会の実現に努める。

環境方針

- 1 事業活動及び当社の製品が与える環境負荷と取り組みの成果を的確に把握し、当社の事業活動にふさわしい以下の環境活動を実施します。
 - ①消費エネルギーの削減
 - ②廃棄物の減量と再利用
 - ③グリーン購入の推進
 - ④節水に努める
- 2 環境目標を設定し、適切性維持のため、毎年見直しを行い、環境経営システムを継続的に改善するとともに、自主的、積極的に環境への取り組みを行い、継続的な環境負荷の削減に努めます。
- 3 環境に関する法令や条例、その他規制を受ける事項を順守します。
- 4 全従業員が環境方針を理解し、自らの役割を十分に認識し、本方針に沿って活動が行われるよう環境教育を進めます。

2013年4月1日 制定
エーソル株式会社
代表取締役 川寄 精一

2. 事業の概要

(1) 事業社名

エーソル株式会社

代表取締役 川崎 精一

(2) 所在地

◆本社

〒105-0013 東京都港区芝公園 1-3-1 留園ビル 7階

◆名古屋営業所

〒464-0850 愛知県名古屋市千種区今池 1-5-3 FUTABA ビル 6F

◆浦和営業所

〒338-0811 埼玉県さいたま市桜区白鯨 567-10

◆鷺沼営業所

〒216-0004

神奈川県川崎市宮前区鷺沼 3-1-8 順峰ビル 2F

(3) 環境保全関係の担当者・連絡先

◆環境管理責任者 滝島 三紀枝

連絡先 TEL : 03-5733-6817 FAX : 03-5733-6818

E-mail : mikie@a-sol-jp.com

(4) 事業所の規模

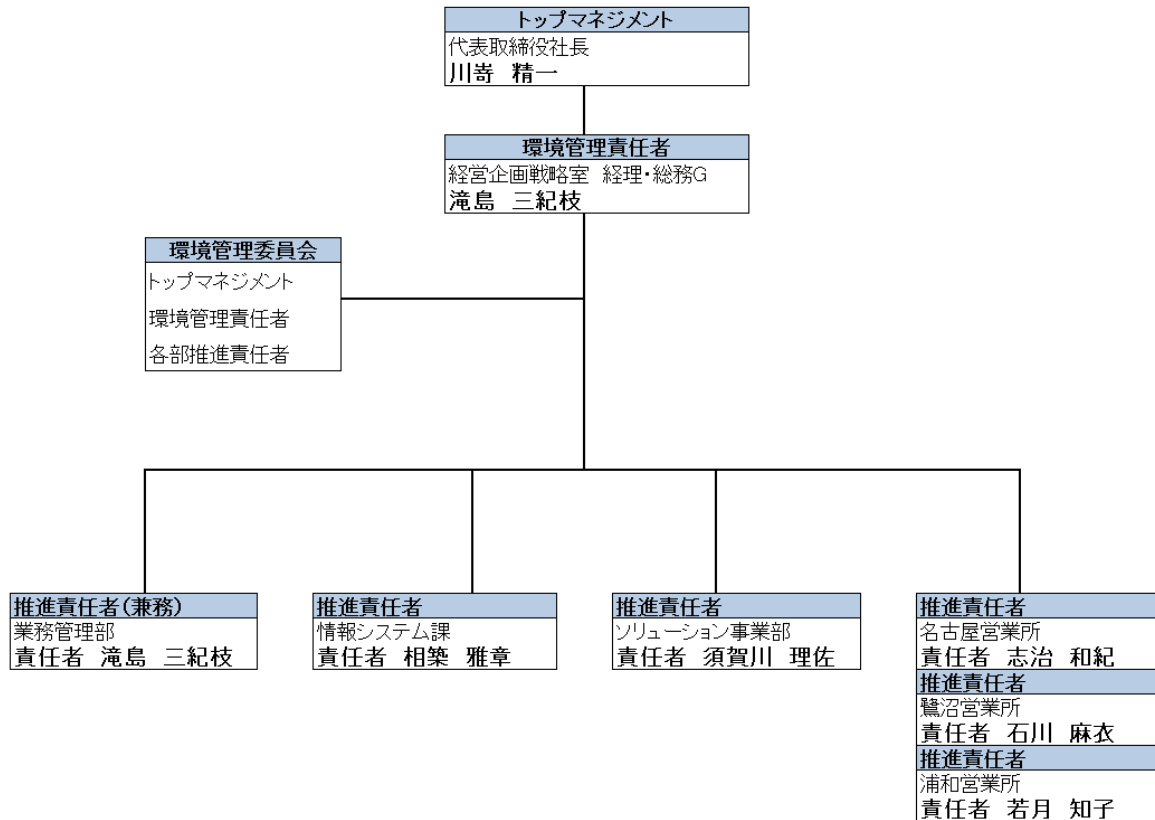
活動規模	単位	2013年 (基準年度)	2015年
売上額	百万円	715	825
従業員	人	78	87
床面積	㎡	661.19	719.19
(内 名古屋営業所)		68.79	68.79
(内 浦和営業所)		116.94	116.94
(内 鷺沼営業所)		-	58

(5) 事業内容

- IT コンサルティング、開発等、IT 業務全般
- IT 企業向けのアウトソーシングビジネス
- 訪問介護事業
- ヘアサロン事業

<http://www.a-sol-jp.com>

3. 環境活動実施体制



4. 環境への負荷の現状

【基準値】

- ・購入電力使用量の削減：2013年度を基準値とし、毎年前年より1%の削減を目指す
- ・自動車燃料使用量の削減：2013年度を基準値とし、毎年前年より1%の削減を目指す（浦和営業所）
- ・一般廃棄物の削減：2013年度を基準値とし、毎年前年より1%の削減を目指す

※排出係数：電力 0.5 (kg-CO2/KWh) で算出（ただし、名古屋営業所は 0.49 (kg-CO2/KWh) を使用）

※都市ガスの使用、産業廃棄物の排出はありません

※名古屋営業所は2015年10月より事務所に人員がない為、評価対象外とする

※鷺沼営業所は2015年度を目標値算出基準年度とする為、今年度は評価対象外とする

環境負荷項目	事業所	基準値	2015年度 (2015年4月～2016年3月)			評価
			目標	実績	対目標値増減率	
CO ₂ 排出量 (購入電力 + 化石燃料) Kg-CO ₂ /期間	本社	35418.0	35063.82	32719.5	-7%	○
	名古屋	6487.6	6422.72	3225.18	-50%	※
	浦和	4447.76	4403.282	4186.47	-5%	○
購入電力 KWh/期間	本社	70836	70127.64	65439	-7%	○
	名古屋	13240	13107.6	6582	-50%	※
	浦和	8392	8308.08	7899	-5%	○
化石燃料 (ガソリン) l / 期間	浦和	2590.8	2564.89	2218.49	-14%	○
一般廃棄物排出量 t / 期間	本社	1.06	1.04	1.05	0%	△
	名古屋	0.008	0.008	0.003	-60%	※
	浦和	0.02	0.02	0.03	50%	×

5. 環境への取組状況結果・評価

(環境保全の取組チェック結果を記入します)

		2013年4月～ 2014年3月 (基準年度)	2015年4月～ 2016年3月
1	事業活動へのインプットに関する項目 小計	126 / 128	126 / 126
1	省エネルギー	84 / 86	86 / 86
2	省資源	36 / 36	36 / 36
3	水の効率的利用及び日常的な節水	6 / 6	4 / 4
4	化学物質使用量の抑制及び管理	0 / 0	0 / 0
2	事業活動からのアウトプットに関する項目 小計	56 / 58	60 / 60
1	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	0 / 0	0 / 0
2	廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	56 / 58	60 / 60
3	排水処理	0 / 0	0 / 0
4	その他生活環境に係る保全の取組等	0 / 0	0 / 0
3	製品及びサービスに関する項目 小計	60 / 60	44 / 44
1	グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入、使用等)	38 / 38	38 / 38
2	製品及びサービスにおける環境配慮	22 / 22	6 / 6
4	その他 小計	39 / 42	36 / 36
1	生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	0 / 0	0 / 0
2	環境コミュニケーション及び社会貢献	39 / 42	36 / 36
3	施主・事業主における建築物の増改築、解体等にわたっての環境配慮	0 / 0	0 / 0
合計		281 / 288	266 / 266

【評価】

■本社では廃棄物排出量の目標を達成する事が出来なかった。
 今後はリサイクルとして扱える品物を更に細かく見極めて、排出量を減らしていく。

■浦和営業所では3月の閉所の際に廃棄物の排出が一時的に増えてしまい、目標の達成には至らなかった。

6. 環境関連法規一覧

当社に適用される法規は以下の通りで、これらの環境関連法規への違反は1件もありませんでした。
なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

	法規制名	チェック方法	評価
1	温対法	管理表の確認	○
2	グリーン購入法	グリーン商品で有るか確認したのち、購入する様に徹底する。	○
3	省エネ法	管理表の確認	○
4	消防法	消火器の設置・消火栓・避難経路の位置確認	○
5	廃掃法	ビル管理会社との廃棄方法の契約確認、 管理表の確認、マニフェストの確認	○
6	リサイクル法	廃棄する PC(OA 機器)等は引取業者のルールに従い リサイクルする	○

7. 環境負荷低減のための中期長期（2016年度～2018年度）目標

<本社>

- ・ 購入電力使用量の削減：基準年度を2015年に設定し、毎年前年より1%ずつの削減をおこなう
- ・ 一般廃棄物、紙類等の分別・資源化：基準年度を2015年に設定し、毎年前年より1%ずつの削減をおこなう
- ・ グリーン購入比率の拡大：事務用品のグリーン商品購入比率を100%に近づける
- ・ 節水に努める
- ・ お客様へのシステム提案時に環境にも意識した（省資源、省エネルギー）提案を行う
- ・ 地域の環境美化活動に積極的に参加する

<名古屋営業所>

- ・ 購入電力使用量の削減：基準年度を2015年に設定し、毎年前年より1%ずつの削減をおこなう
 - ・ 一般廃棄物：紙類等の分別・資源化：基準年度を2015年に設定し、毎年前年より1%ずつの削減をおこなう
 - ・ グリーン購入比率の拡大：事務用品のグリーン商品購入比率を100%に近づける
- ※上下水道に関してはオフィス外に水道が設置されており、使用量の数値が把握出来ない為活動対象外とする
- ・ お客様へのシステム提案時に環境にも意識した（省資源、省エネルギー）提案を行う

<ヘアサロン事業> (※2 店舗)

- ・ **購入電力使用量の削減**：基準年度を 2015 年に設定し、毎年前年より 1%ずつの削減をおこなう
※新店舗に関しては 2016 年度を数値収集年度とする
- ・ **都市ガス使用量の削減**：基準年度を 2015 年に設定し、毎年前年より 1%ずつの削減をおこなう
※新店舗に関しては 2016 年度を数値収集年度とする
- ・ **一般廃棄物、紙類等の分別・資源化**：基準年度を 2015 年に設定し、毎年前年より 1%ずつの削減をおこなう
※新店舗に関しては 2016 年度を数値収集年度とする
- ・ **グリーン購入比率の拡大**：事務用品のグリーン商品購入比率を 100%に近づける
- ・ **節水に努める**：基準年度を 2015 年に設定し、毎年前年より 1%ずつの削減をおこなう
※新店舗に関しては 2016 年度を数値収集年度とする
- ・ **カラー剤等の使用量を調節する**：必要以上に薬液を使用しない（環境汚染を防止する）

8. 環境保全に向けた具体的な取組(計画)

<本社>

① 購入電力使用量の削減

【年度目標】

基準年度を 2015 年に設定し、毎年前年より 1%ずつの削減をおこなう

【施策】

エアコン設定温度を、夏季 26℃～28℃／冬季 20℃～22℃とする

人が居ないスペースのエアコン停止を徹底する

人が居ないスペースの消灯を徹底する

使用していない OA 機器の電源 OFF を徹底する

省電力商品の優先購入

サーバー利用台数の削減

温度・湿度・照度の計測機器を導入して、各部屋の状況を把握する

[PC 設定] ディスプレイの輝度を下げる

[PC 設定] 無操作状態 5 分で自動ディスプレイ OFF

[PC 設定] 無操作状態 10 分で自動 HDD 電源 OFF

[PC 設定] 無操作状態 15 分で自動休止

[PC 設定] 離席時は手動休止

② 廃棄物排出量の削減

【年度目標】

基準年度を 2015 年に設定し、毎年前年より 1%ずつの削減をおこなう

【施 策】

資源ごみ・OA 機器のリサイクルを徹底する
機密文書回収 BOX の利用を推進して、紙のリサイクルを徹底する
ペーパーレス化の推進

③ グリーン購入量の拡大

【施 策】

事務用品のグリーン商品優先購入

④ 節水に努める

【施 策】

ポスター掲示等による節水の呼びかけ

⑤ システム提案時に環境にも意識した（省資源、省エネルギー）提案

【施 策】

お客様に省電力商品（サーバ、PC）を使用した環境負荷の低減に結びつくシステム、
環境に配慮したシステム構築の提案を積極的に行う

⑥ 環境に関する社外活動を行い社員の意識向上を図る

【施 策】

港区のアドプト活動へ積極的に参加する（環境美化活動）

<名古屋営業所>

① 購入電力使用量の削減

【年度目標】

基準年度を 2015 年に設定し、毎年前年より 1%ずつの削減をおこなう

【施 策】

昼休み消灯を徹底する
エアコン設定温度を、夏季 26℃～28℃／冬季 20℃～22℃とする
ブラインドを閉めて、空調効率を上げる
省電力商品の優先購入
LED 蛍光灯導入の推進
不要な電気の消灯を徹底する（営業所全体）
不要な OA 機器の電源 OFF を徹底する（サーバー・PC・プリンター）
ノート PC のバッテリー駆動の推進（朝・夕に充電、昼間はバッテリー駆動）
サーバー利用台数の削減（仮想化や構成の見直しを実施する）
[PC 設定] 無操作状態 5 分で自動ディスプレイ OFF

[PC 設定] 無操作状態 15 分で自動休止

② 廃棄物排出量の削減

【年度目標】

基準年度を 2013 年に設定し、毎年前年より 1% ずつの削減をおこなう

【施 策】

排出量を計測する（リサイクル可能な資源ごみがリサイクルされているかの確認
（PC などの OA 機器全般）

機密文書回収 BOX の利用を推進して、紙のリサイクルを徹底する

ペーパーレス化の推進

モノクロ・2up・4up 印刷の推進

③ グリーン購入量の拡大

【施 策】

事務用品のグリーン商品優先購入

④ システム提案時に環境にも意識した（省資源、省エネルギー）提案

【施 策】

お客様に省電力商品（サーバ、PC）を使用した環境負荷の低減に結びつくシステム、
環境に配慮したシステム構築の提案を積極的に行う

<ヘアサロン事業>

① 購入電力使用量の削減

【年度目標】

基準年度を 2015 年に設定し、毎年前年より 1% ずつの削減をおこなう

※新店舗に関しては 2016 年度を数値収集年度とする

【施 策】

エアコン設定温度を必要以上に上げたり、下げたりしない

省電力商品の優先購入

LED 蛍光灯導入の推進

人がいないスペースの消灯を徹底する

使用していない OA 機器の電源 OFF を徹底する

② 廃棄物排出量の削減

【年度目標】

基準年度を 2015 年に設定し、毎年前年より 1% ずつの削減をおこなう

※新店舗に関しては 2016 年度を数値収集年度とする

【施 策】

排出量を計測する
消耗品の空き容器等の分別を徹底する
ペーパーレス化の推進（予約表等は端末で管理）
カラー剤等を必要以上に発注して、空き容器ゴミを増やさない

③ グリーン購入量の拡大

【施 策】

事務用品のグリーン商品優先購入

④ 節水に努める

【年度目標】

基準年度を 2015 年に設定し、毎年前年より 1%ずつの削減をおこなう
※新店舗に関しては 2016 年度を数値収集年度とする

【施 策】

ポスター掲示等による節水の呼びかけ

⑤ カラー剤等の使用量を調節する

【施 策】

必要以上に薬液を使用しない（環境汚染を防止する）

9. 全体評価と見直しの結果

エコアクションの活動を始めて 4 年以上が経過し、単純に数値目標を達成する事だけでは無く新しい取り組みを考えて実行する必要が有る。

また、同じく自社で提供する製品及びサービスについても、改めて施策を考えて実行すること。

環境コミュニケーション及び社会貢献の一環として実施している「地域の環境美化」等の社外活動に更に多くの従業員が積極的に参加する様に、運営メンバーからアイデアを出し活動の拡大を目指して行ってほしい。

【結果評価日 2016 年 4 月 11 日 代表取締役 川崎 精一】

環境管理計画書 (2016年度)

<本社>

○=取り組む、×=取り組み前

取組内容	施策	項番	推進責任者	年間活動計画			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1. 購入電力使用量の削減	エアコン設定温度を夏季26～28℃、冬季22～24℃とする	1-1	滝島	○	○	○	○
	省電力商品の優先購入	1-2	滝島	○	○	○	○
	人が居ないスペースの消灯を徹底する	1-3	滝島	○	○	○	○
	不要な電気の消灯を徹底する	1-4	滝島	○	○	○	○
	不要なOA機器の電源OFFを徹底する	1-5	相築	○	○	○	○
	サーバー利用台数の削減	1-6	相築	○	○	○	○
	【PC設定】 ・ディスプレイの照度を下げる ・無操作状態5分で自動ディスプレイOFF ・無操作状態10分で自動HDD電源OFF ・無操作状態15分で自動休止 ・離席時は手動休止	1-7	相築	○	○	○	○
2. 廃棄物排出量を削減する	資源ごみ、OA機器のリサイクルを徹底する	2-1	滝島	○	○	○	○
	機密文書回収BOXの利用を推進して、紙のリサイクルを徹底する	2-2	滝島	○	○	○	○
	ペーパーレス化の推進	2-3	滝島	○	○	○	○
	受信FAXの出力設定をデータ化する	2-4	滝島	○	○	○	○
	プリンター設定をモノクロ・両面・2up印刷	2-5	滝島	○	○	○	○
3. グリーン購入比率の拡大	事務用品のグリーン商品優先購入	3-1	滝島	○	○	○	○
4. 節水に努める	水使用量を把握し、節水呼び掛ける	4-1	滝島	○	○	○	○
5. システム提案時に環境を意識(省資源、省エネルギー)	お客様に省電力商品(サーバ、PC)を使用した環境負荷の低減に結びつくシステム、環境に配慮したシステム構築の提案を積極的に行う	5-1	相築	○	○	○	○
6. 社会活動に参加する	港区主催のアドプト活動(環境美化)に積極的に参加する	6-1	須賀川	○	○	○	○

<名古屋営業所>

○=取り組む、×=取り組み前

取組内容	施策	項番	推進責任者	年間活動計画			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1. 購入電力量の削減	昼休み消灯を徹底する(エントランス以外)	1-1	滝島	○	○	○	○
	エアコン設定温度を夏季26～28℃、冬季22～24℃とする	1-2	滝島	○	○	○	○
	ブラインドを閉めて、空調効率を上げる	1-3	滝島	○	○	○	○
	LED蛍光灯導入の推進	1-4	滝島	○	○	○	○
	使用しない時の消灯を徹底する(営業所全体)	1-5	滝島	○	○	○	○
	使用しない時に電源OFFを徹底する(サーバー、パソコン、プリンター)	1-6	滝島	○	○	○	○
	PCの無操作状態5分で自動ディスプレイOFFを徹底する	1-7	滝島	○	○	○	○
	PCの無操作状態15分で自動休止を徹底する	1-8	滝島	○	○	○	○
	ノートPCのバッテリー駆動を推進(朝、夕に充電する)	1-9	滝島	○	○	○	○
	サーバ利用台数の削減(仮想化や構成の見直しを実施)	1-10	相築	○	○	○	○
2. 廃棄物排出量を削減する	排出量を計測する	2-1	滝島	○	○	○	○
	機密文書リサイクルを利用、紙をリサイクルする	2-2	滝島	○	○	○	○
	ペーパーレス化の推進	2-3	滝島	○	○	○	○
	モノクロ、両面印刷、2ページ/枚の推進	2-4	滝島	○	○	○	○
3. グリーン購入比率の拡大	事務用品のグリーン商品の優先購入	3-1	滝島	○	○	○	○
4. システム提案時に環境にも意識した(省資源、省エネルギー)提案	お客様に省電力商品(サーバ、PC)を使用した環境負荷の低減に結びつくシステム、環境に配慮したシステム構築の提案を積極的に行う	4-1	滝島	○	○	○	○

<ヘアサロン2店舗>

○=取り組む、×=取り組み前

取組内容	施策	項番	推進責任者	年間活動計画			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1. エネルギー投入量の削減	エアコン設定温度を必要以上に上げたり、下げたりしない	1-1	中村	○	○	○	○
	省電力商品の優先購入	1-2	中村	○	○	○	○
	LED蛍光灯導入の推進	1-3	中村	○	○	○	○
	人がいないスペースの消灯を徹底する	1-4	中村	○	○	○	○
	使用していないOA機器の電源OFFを徹底する	1-5	中村	○	○	○	○
2. 廃棄物排出量を削減する	排出量を計測する	2-1	中村	○	○	○	○
	消耗品の空き容器等の分別を徹底する	2-2	中村	○	○	○	○
	ペーパーレス化の推進（予約表等は端末で管理）	2-3	中村	○	○	○	○
	カラー剤等を必要以上に発注して、空き容器ゴミを増やさない	2-4	中村	○	○	○	○
3. グリーン購入比率の拡大	グリーン商品の優先購入	3-1	中村	○	○	○	○
4. 節水に努める	節水を意識する	4-1	中村	○	○	○	○
5. カラー剤等の使用量を調節する	必要以上に薬液を使用しない（環境汚染を防止する）	5-1	中村	○	○	○	○

以上